

栃木県（住宅地 取引価格）



R5.4月期（現況実感値）



エリア	R4.4月期	R4.10月期	R5.4月期 (現況実感値)	R5.10月期 (予測値)
栃木県計				
宇都宮				
県南				
両毛				
芳賀				
県西				
塩那				
県北				

不動産市場レポート

- 県合計では6割強が「横ばい」で、「やや上昇」、「やや下落」ともに同程度であり、住宅地の取引価格は横ばい傾向がうかがえる（R5.4月期）。
- 6カ月後（R5.10月期）の予測でも6割強が「横ばい」で、「やや上昇」、「やや下落」ともに同程度であり、やや悪化が予測されている。

栃木県（商業地 取引価格）



R5.4月期（現況実感値）



エリア	R4.4月期	R4.10月期	R5.4月期 (現況実感値)	R5.10月期 (予測値)
栃木県計				
宇都宮				
県南				
両毛				
芳賀				
県西				
塩那				
県北				

不動産市場レポート

- 県合計では6割が「横ばい」で、「やや下落」と「大きく下落」を合わせて約2割強となっており、商業地の取引価格は横ばいからやや下落傾向がうかがえる（R5.4月期）。
- 6カ月後（R5.10月期）の予測では、「横ばい」は現状と変わらず、上昇傾向と下落傾向の予測割合も現状と同程度と予測されている。

栃木県（中古住宅 取引価格）



R5.4月期（現況実感値）



エリア	R4.4月期	R4.10月期	R5.4月期 (現況実感値)	R5.10月期 (予測値)
栃木県計				
宇都宮				
県南				
両毛				
芳賀				
県西				
塩那				
県北				

不動産市場レポート

- 県合計では6割弱が「横ばい」、2割弱が「やや上昇」、2割強が「やや下落」で、中古住宅の取引価格は横ばいからやや下落傾向がうかがえる（R5.4月期）。
- 6カ月後（R5.10月期）の予測では6割強が「横ばい」、2割弱が「やや上昇」及び「やや下落」と回答し、横ばいから若干の下落傾向が予測されている。

栃木県（宅地 取引件数）



R5.4月期（現況実感値）



エリア	R4.4月期	R4.10月期	R5.4月期 (現況実感値)	R5.10月期 (予測値)
栃木県計				
宇都宮				
県南				
両毛				
芳賀				
県西				
塩那				
県北				

不動産市場レポート

調査時点（R5年4月）の宅地の取引件数について、県合計のDI値は45.2で、前回調査に比べ0.8ポイント増であった。DI値は宇都宮地区（50.8）及び芳賀地区（53.6）を除いて50を下回っている。DI値が最も高い芳賀地区は前回調査より20.3ポイント増であるものの、最も低い両毛地区及び県西地区（いずれも39.6）はそれぞれ5.4ポイント減、7.6ポイント減となった。なお、前回調査時のR5年4月の宅地の取引件数の予測DI値は県合計で44.4であったのに対して今回実感は45.2と、予測よりも実感のDI値が0.8ポイント高いものとなった。

栃木県（中古住宅 取引件数）



R5.4月期（現況実感値）



エリア	R4.4月期	R4.10月期	R5.4月期 (現況実感値)	R5.10月期 (予測値)
栃木県計				
宇都宮				
県南				
両毛				
芳賀				
県西				
塩那				
県北				

不動産市場レポート

調査時点（R5年4月）の中古住宅の取引件数について、県合計のDI値は45.8で、前回調査に比べ1.2ポイント減であった。DI値はすべての地区で50を下回っており、DI値が最も高かったのは宇都宮地区（49.2）で、前回調査に比べ0.5ポイント増加した。DI値が最も低いのは芳賀地区（40.0）であるが、前回調査に比べ3.9ポイント増加している。2番目に低い県西地区（40.6）は、前回調査に比べ3.2ポイント減少している。前回調査に比べてDI値が増加したのは宇都宮地区、両毛地区、芳賀地区である。

なお、前回調査時のR5年4月の中古住宅の取引件数の予測DI値は県合計で47.3であったのに対して今回実感値は45.8と、予測よりも実感のDI値が1.5ポイント低いものとなった。